

Architecture  
Presentasion

architect  
Shinichiro Matsuura

comododesign  
Architectural  
Design Office



建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に

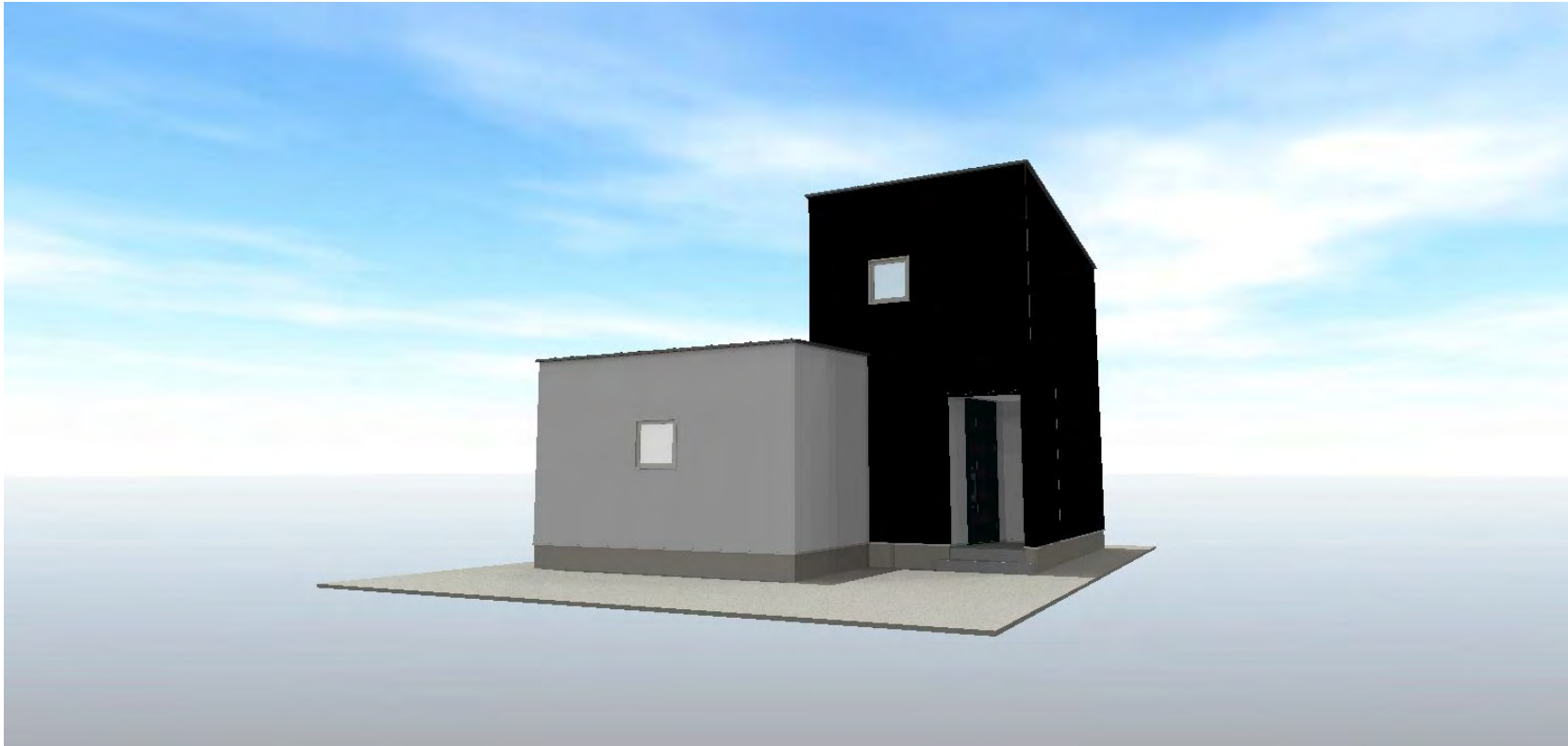


R+house



**BAUHAUS.**  
The House solves the function,  
and Knitting and an Ouse are there should be it beautiful.

Bauhaus Project





## 担当建築家

一級建築士

# 松浦 伸一郎

コモドデザイン一級建築士事務所@山口

Matsuura Shinichiro

自分にとっての理想の住まい、また暮らしとは何なのか。

絡み合った糸をほどく一方で美しく紡いでいく。

家づくりとはそんな作業に例えられるかもしれません。

毎日の暮らしの中に「美」という心地よい違和感を感じることができたら。

その心のざわつきが、豊かさになるのだとしたら。そんな提案をしていきたいと考えています。

### Profile

1973 年山口県生まれ

1994 年徳山高専土木建築科 卒業

1994 年ゼネコンの現場管理

2006 年ハウスメーカー→工務店→

2013 年 コモドデザイン

# デザインの素晴らしさ&長持ちするデザイン

今の日本の住宅の寿命は約 30 年というのが普通です。

ちなみに、アメリカでは 70 ～ 100 年以上、イギリスでは 100 ～ 120 年以上。

建物の設計や住まい方次第で、家の寿命を延ばすことは可能なんです。

日本と欧米、なぜこんなに違いがあるのか？

欧米では、ライフスタイルに合わせ自由に変更できる家なので、  
お金もあまりかけずに、生活に合った良い暮らしをしたり、子どもの世代に受け継いだり・・・  
そんな良い循環ができていますので建物の寿命が長いのです。

実際に、何十年も前にデザインされた建築や家具が今の時代でも愛され続け、  
価値のあるものとして受け継がれています。



1904 年  
バレルチェア



1920 年代  
LC2/LC3 ソファ



1929 年  
バルセロナチェア

## 近代建築の三大巨匠

▶ ミース・ファン・デル・ローエ  
1931 年 サヴォア邸



▶ フランク・ロイド・ライト  
1936 年 落水荘



▶ ル・コルビュジェ  
1951 年 ファンズワース邸





## 建築家の高度な設計スキル

お客様のライフスタイルにあった設計をする上で重要なことのひとつに

『動線』を考慮することがあります。

**動線とは、家の中を自然に動くときによく通る通路のこと。**

普段の生活で朝の忙しい時間帯や、夜の家族でくつろぐ時間帯での

動線、炊事・洗濯・取り入れ・お風呂・就寝の準備など

家事をする時の動線、来客があるときの動線など、その家族に合った

**動線を計画する必要があります。**



お父さんの部屋

お母さん 雄に、おぼえたいたけように 南無に 臣し、南無の宮は  
 有也といひます。また、LONKの南に、赤いさんお宮様と行きます  
 3月口、不使ひなりや南無と引きつるにまがき 受けとる。

お母さん、男、男にたてと見えたりはまがき、とてまのたて。  
 とくまが、8月おぼえと御座いますといふことにはなしてまがきとどな  
 喜にたけ。今か 衆議におめがきとて取りまがき、一筋あ  
 南無、臣すにまがき。今、南無に、ひんかたの最大とてとるにます。  
 お母様は、南無にたけ、ソラニのつて、は、かたの疾とてとる……  
 南無、おめがき、たけ。お母さん、ソラニのたて、このおぼえと。  
 南無、おめがき、たけ。お母さん、たてに、たてに。

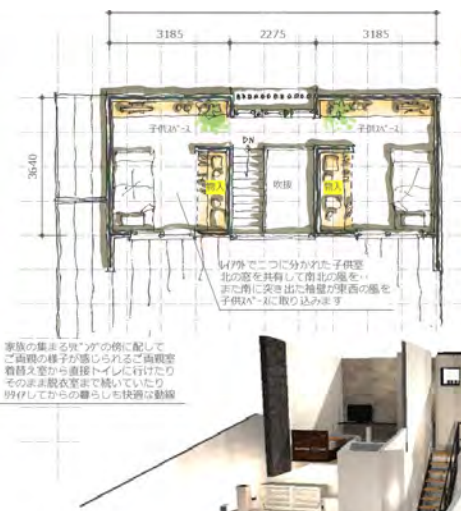
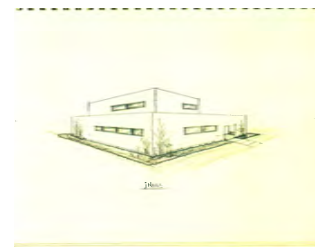
お母さんの部屋・押し入れ

[illegible]

それに、毎日の負担が減るように、WCを1番近くなるようにしました。  
少しでもラクしたいにゲたと思います。

全体の配置として

「では、**日本の環境とLDK**と他の本通り、どのアートを日々の生活の重なり合いとして考えた。それは、大切に守らねばならない考え方もきちんと成り立つように... (心) です。『**森 鶴**』が『**森 鶴**』が安心して快適に暮らしているように想いを込めて計画はさせていたにすぎない。」





# 敷地を読む

樹木は同じ種類でも同じ形のものは一つありません、枝ぶりも違う。

それは生えている場所が違うからです。

住宅も同じです。敷地に溶け込むデザイン、自然の風・光を利用する

デザインになるべきなのです。

建築家は、まず敷地を見て、その中でお客様の要望を入れて

全体的にデザインしていきます。



建築家 藤本誠生建築設計事務所@熊本 藤本誠生



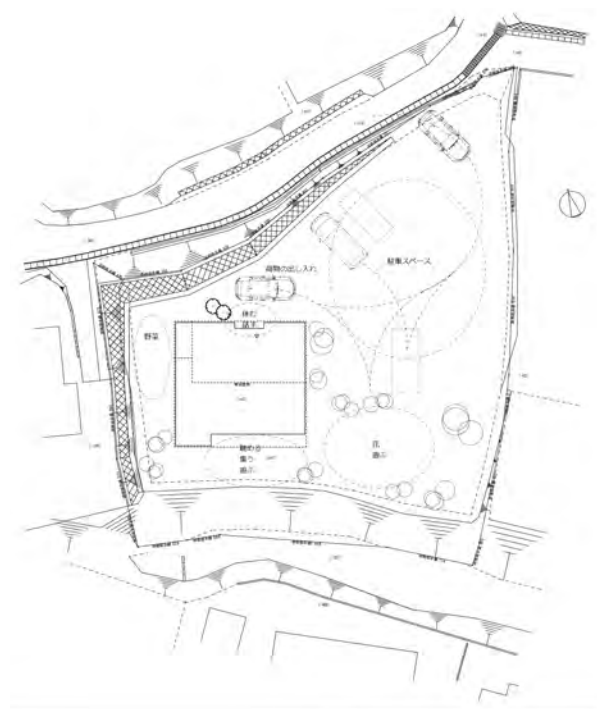
建築家 スギハラ建築設計事務所@広島 杉原豊実



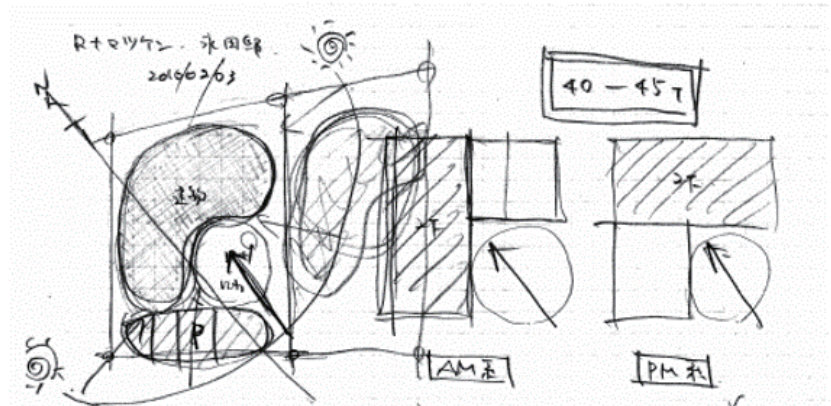
建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



光・風・周辺の交通量・車が多いか・  
人が良く通るか・昼夜のギャップ・隣家と距離感・  
隣家の窓・玄関位置・どんな部屋なのか土地の  
個性を考え、間取りや窓の位置は必ずその敷地に  
合わせて作りこまれています。



# ヒアリング力と提案力

建築家と住宅会社の設計担当者とは、家づくりに対するアプローチが全く違います。

例えば・・・

LDKは何畳欲しいですか？  
和室は何畳欲しいですか？

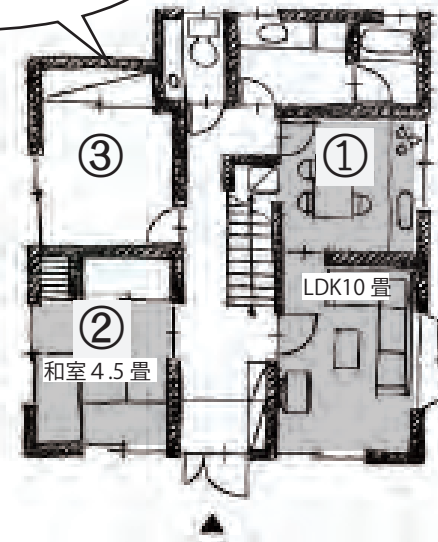
①リビングとダイニングは分けて全部で  
12畳くらい欲しいです！

③洋室も1つ欲しいな

②和室は5畳あるといいなあ・・・！

空間の寄せ集めプラン

ご希望通りのプランを作成しました。  
いかがでしょうか？最高でしょう？



一見、要望を聞いてくれて反映させてくれているように感じますが、  
これは要望をパズルのように当てはめただけの【空間の寄せ集め】になります。  
それは、本当にお客様にとって最適な間取りなののでしょうか？

建築家は、こう聞きます。

「目をつぶって想像してください。建てた家で何をしている光景ですか？」

その答えが、一番やりたいことです。そのライフスタイルを実現してくれるのが建築家。

簡単にヒアリングされて出てきた間取りと、しっかりヒアリングされプロの建築家の知恵が反映された  
結果とは違います。



さあ、建築家の提案を見てみましょう→

# block planning

北西

Z03Z03228- 8  
KBM H=20. 000

## 敷地をめいっぱい使ったゆとりある生活

角を有効的に活用。  
どこからでも駐車しやすい。

## 配置計画

駐車場

## 建築家の解決ポイント②

南西側：駐車場からの  
視線性を遮り、風も取り入れら  
れる。外の格子が生活  
を守ってくれるモチーフと  
なっている。

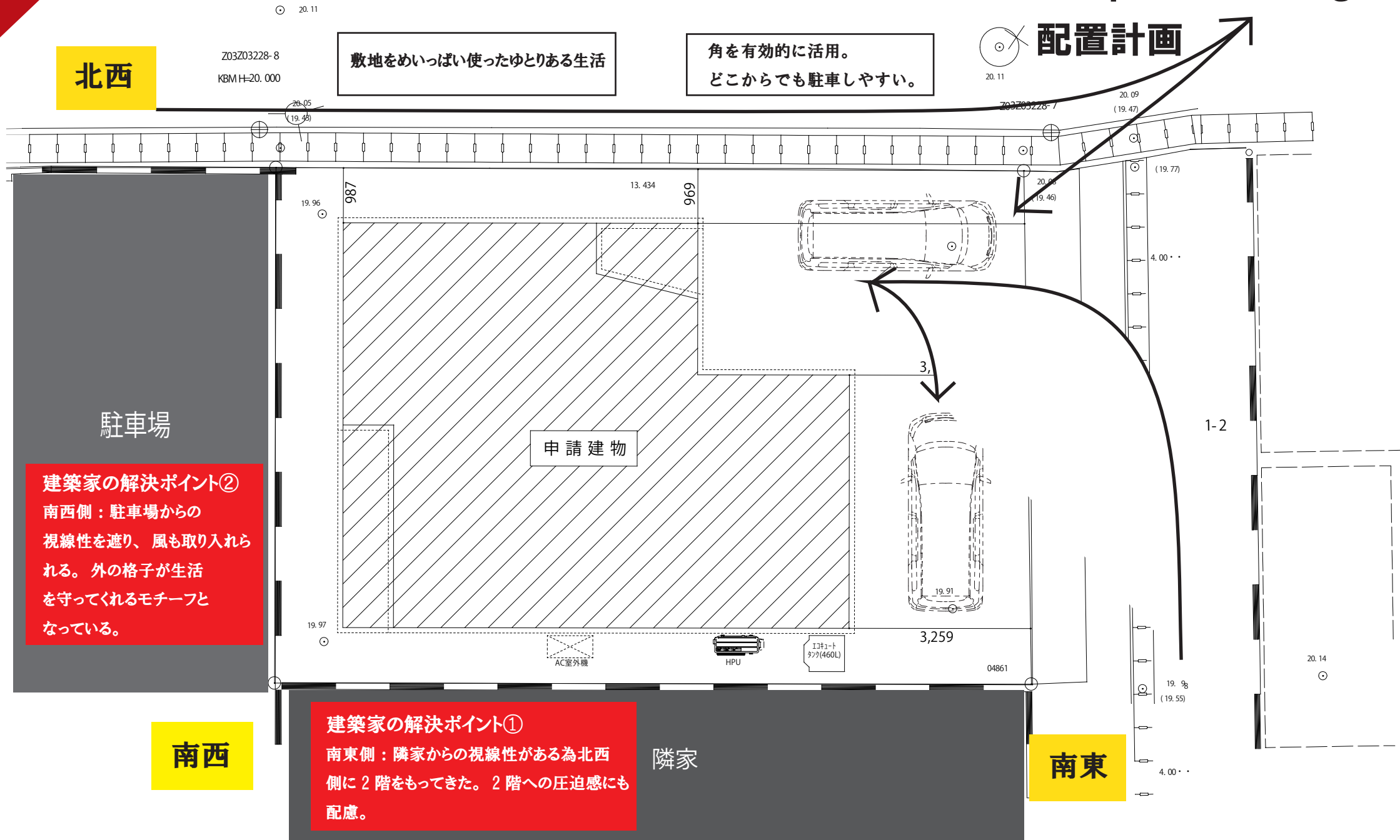
申請建物

## 建築家の解決ポイント①

南東側：隣家からの視線性がある為北西  
側に2階をもってきた。2階への圧迫感にも  
配慮。

隣家

南東







【ご主人】	【奥様】
7:30 起床・身支度（朝シャワー）	7:00 起床・身支度
8:00 朝食・出社	8:30 朝食・出社
↓	↓
19:00 帰宅	18:00 帰宅
20:00 着替	19:00 食事の準備
21:00 食事	20:00 食事
22:00 自由時間	21:00 片付け・その他色々
23:00 :	22:00 自由時間
24:00 就寝	23:00 お風呂
	24:00 就寝



仕事の帰りが遅い時は、  
料理をしながら、立ったまま食べるで、片付けする  
ことも多いのよね。



でしたら、II型のキッチンはいかがでしょう。  
奥様ご自身が回転するだけなので移動距離ゼロ。  
食べたり飲んだりしながら、お料理をしたり洗い物をしたりする方にとっては  
とても使いやすいスタイルです。動きやすいということは無駄な時間を使  
わないということなので、時間短縮にもつながります。



LDKは、お互い気兼ねなく自由にくつろいだり  
ダイニングでゆっくり晩酌を楽しめる空間が  
理想だわ。



カウンター式のダイニングテーブルにするこ  
とで奥様がキッチンに立っていても、ご主人  
は対面して食事をすることができますし、配  
膳もキッチンから手を伸ばすだけなので楽で  
すよ。お料理中でもちょっと座ることが出来  
ますから、ご主人との晩酌の時間もゆっくり  
楽しんでいただけたと思います。



2人共くつろいだまま眠ってしまうことも  
しばしば。畳でゴロゴロしたいけど、和室を  
作るとリビングが狭くなったり使い勝手が悪  
くなったりしないかな…それなら和室は要ら  
ないから、置き型の畳でも敷こうかな。



「和室」として区切るのではなくリビングの延長線上に畳ス  
ペースを設けることで2つの空間がありながら一体感と開放  
感を演出しました。畳でゴロンとしているときにリビングのテレ  
ビも見えますし、階段吹き抜けの下に畳をもってきたことで  
南の光が階段から落ちてきて、より心地よい空間になって  
います。床面に接した窓は高さや大きさを考慮して、寝転がっ  
ても外から見えないように配置していますから、外の視線を  
気にすることなく寛げますよ。階段下を利用して収納ス  
ペースを設けました。2人分の布団程度可能です。



ふたりでいる時間も、ひとりの  
時間も大切にしたい。



室内の縦格子は、同じ空間に居ながらも  
気兼ねなく、お互いの好きなことがしやす  
いように半個室のような安心感を与えます。  
必要な時は声を掛け合えるプライバシーの  
あるオープンな空間を演出しました。

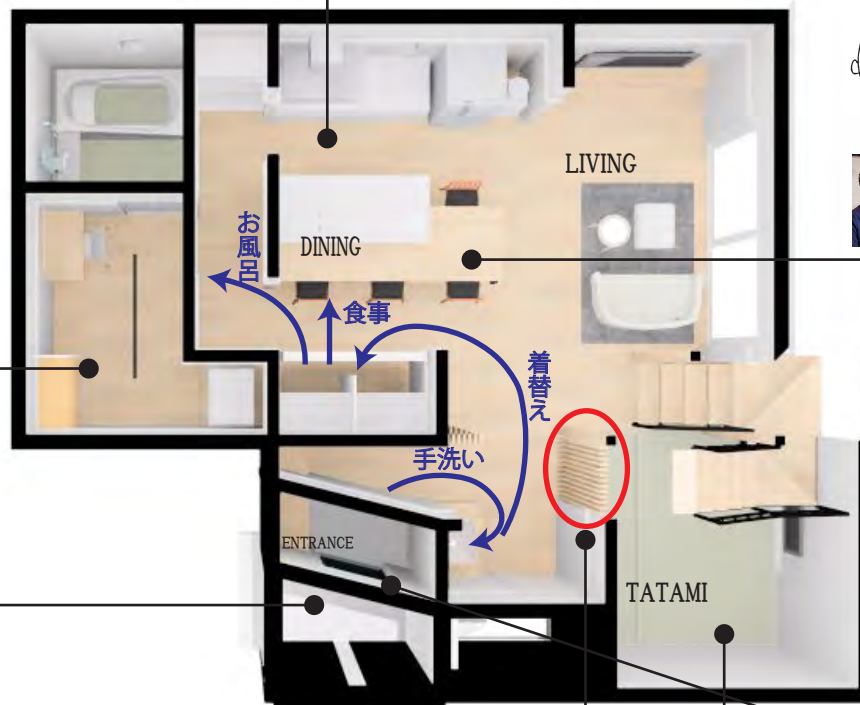
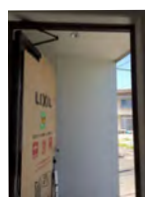
1階中心の生活が希望だわ。

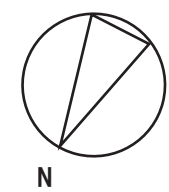
生活導線を最短にしたい！  
着替えや洗濯などは、1カ所にまとめ  
てスムーズに！

帰宅して手洗い～お風呂や食事までの  
動線を最短で設計しました。  
室内干しは脱衣室にして、すぐ隣のクロー  
ゼットに収納できます。  
何をする場合でも5～6歩で済むように  
しています。

玄関を開けた時家の中が  
見えないようにしたいわ！

玄関を開けても外から  
見えないよう玄関の位置と  
壁の配置を工夫しました。  
ポストの位置も計算に入れています。  
部屋着でも気にせず、郵便物を  
取りに行けますよ。雨にも濡れないのでストレスフリーです。  
空間を最大限広く使えるよう玄関扉は斜めに位置しました。





もしスペースが取れるなら、仕事を持ち帰ることもあるし、一人になれる空間もあったらいいな。



階段スペースに、ちょっとした書斎を設けました。もう少し広く書斎スペースを設けることも可能でしたが、お施主様のご希望でクローゼットの広さはそのまま変えず寝室を広くしたいとの事でしたので、そちらを優先しました。書斎自体には扉はありませんが、腰の高さまでの壁がある為空間は繋がっているけど、姿は見えない。集中できる空間になっていると思います。



布団をどこかで干したいわ。



道路から見えない位置に布団干しバーを付けました。南面なので日も当たります。



隣の月極駐車場からの視線が気になるわ。



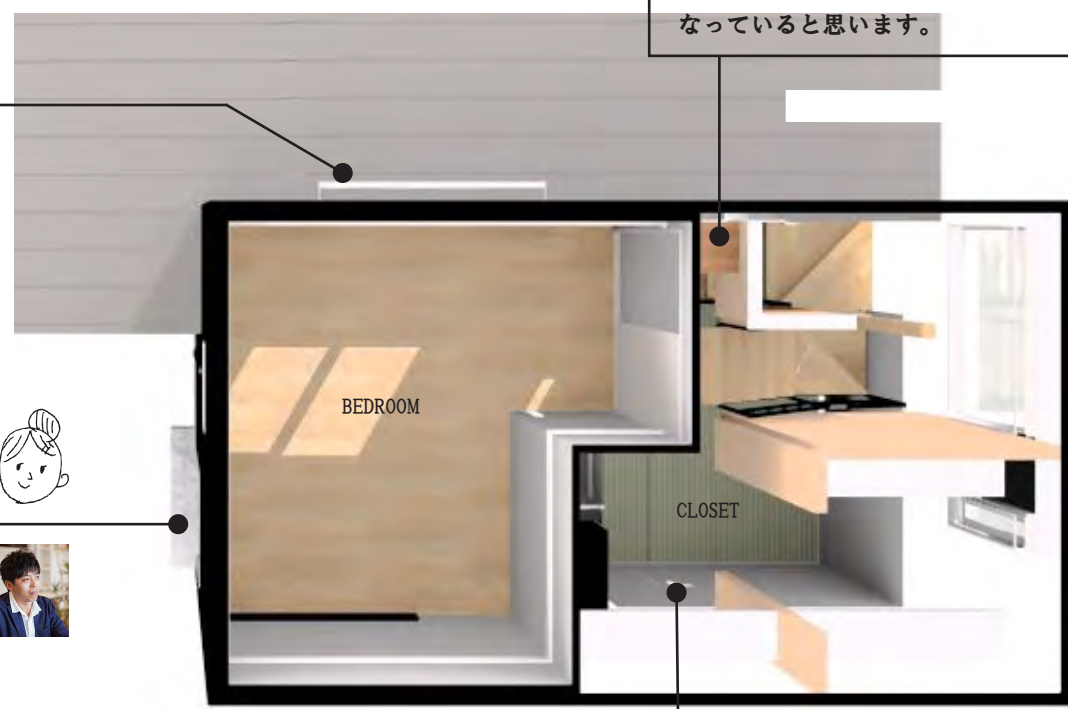
2階の位置は周りの家（視線）から離れた距離に配置。隣家への圧迫感にも配慮しました。



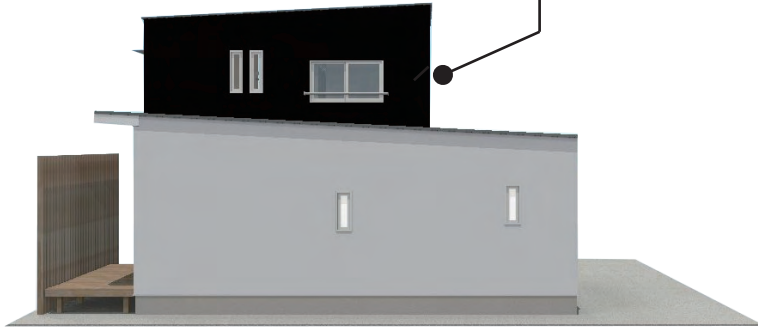
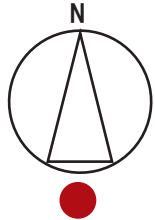
色んな使い方ができるクローゼットが魅力的。



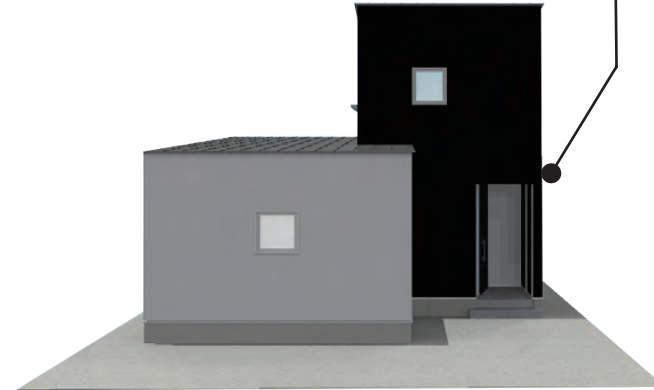
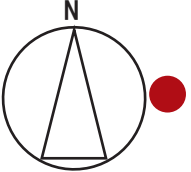
少なからず住んでから、ああしたい、こうしたいということもでてくるといいますので、棚やハンガーポールは付けず自由が利くように広めに収納をとりました。



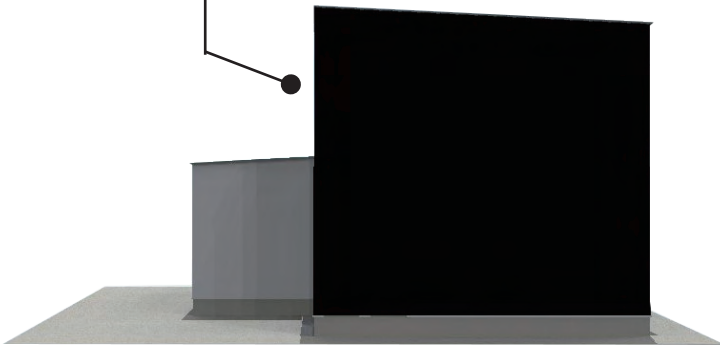
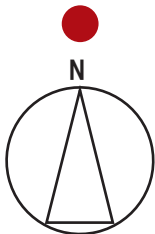
2 階の位置は周りの家から離れた距離で土地の中央に配置。  
今回の計画は土地の広さご要望から、敷地を目一杯  
使う計画だったので、施主様のプライバシーを考慮しながら、隣家  
へ圧迫感を与えない様に配慮している。



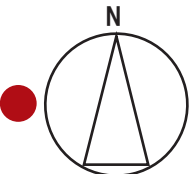
玄関への入り口は道路からの視線に配慮して壁を設け  
ている。さらに玄関扉を正面ではなく斜めに配置して  
いるので外からの視線が気になりにくい。



北西側は大きな道路に面していて、西日を遮る為にも西側に窓は設け  
ていないが、南からの日当りは窓の位置や高さ、庇（ひさし）の出  
幅を考慮し、日光を上手く取り入れられるように設計されている。



縦格子は隣の月極駐車場からの視線を遮る役割とデザイン性を兼ねている。  
駐車場側からは、室内の天井しか見えないよう計算されていて、  
室内と外との視線が交わらないようプライバシーが守られている。





# 熊本風配図

・・・とは、ある場所における一定期間の風向の頻度を八方位もしくは一六方位に分けて表し、同時に各風向きの平均風速をも示したもの。

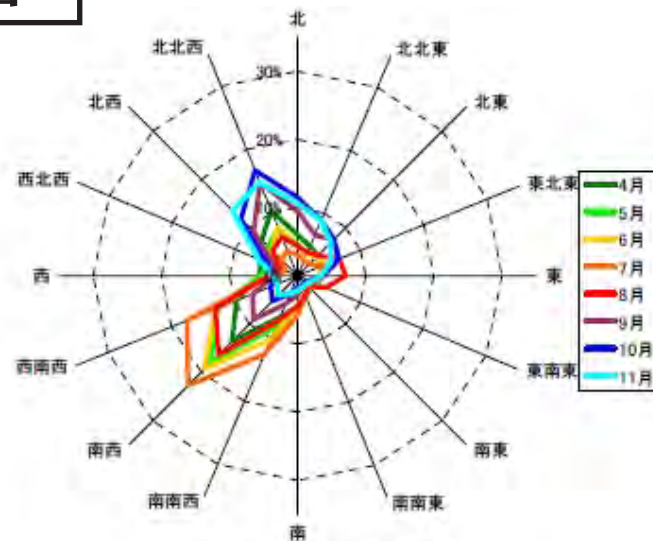


図4a 月別風配図(起居時)

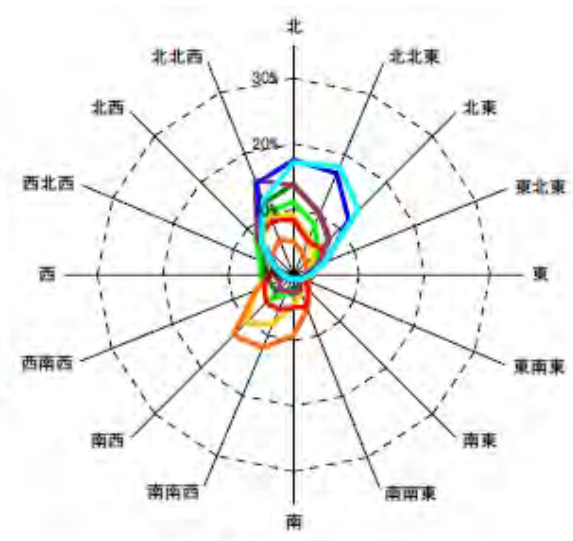
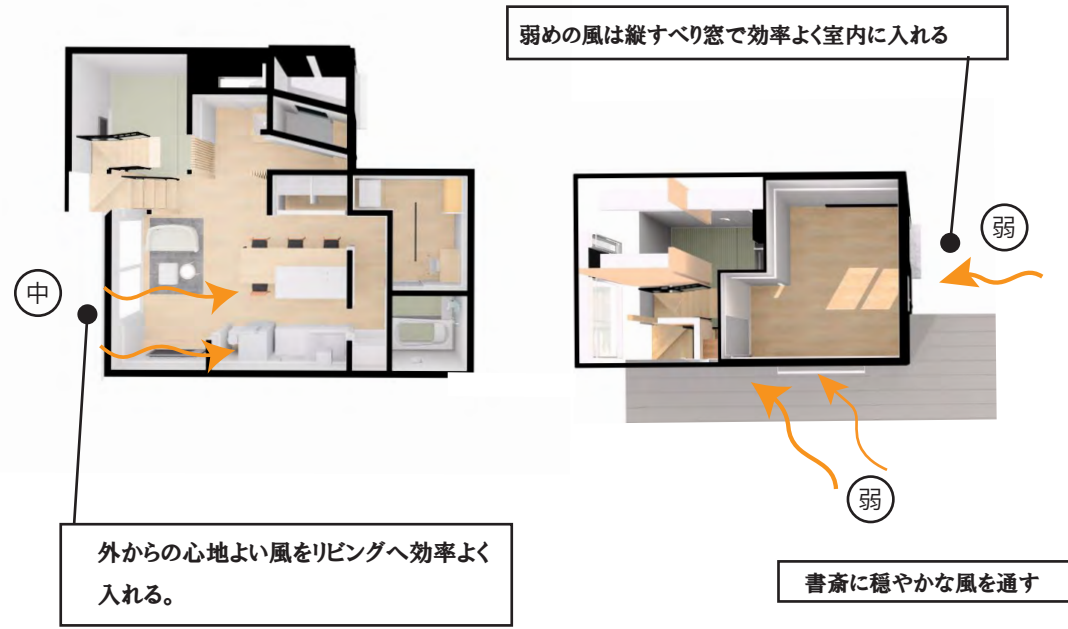
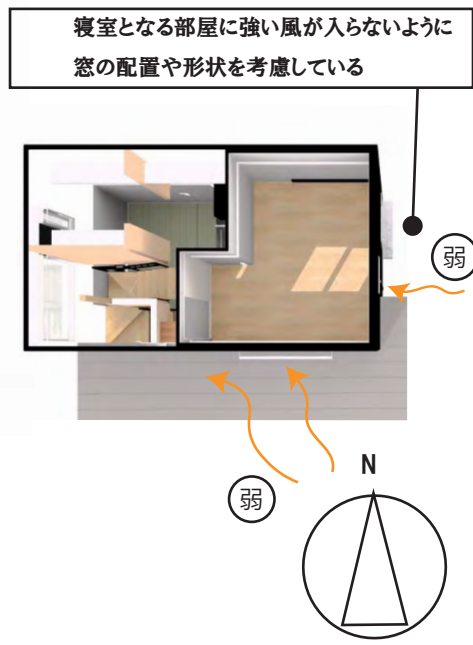


図4b 月別風配図(就寝時)

## 起床時



## 就寝時

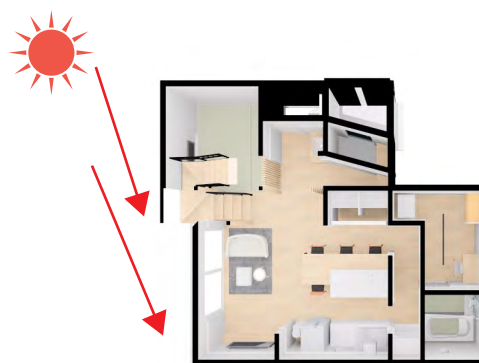


冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後12時



真夏午後12時



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに代わる太陽の動きも熟知したうえで設計します。

南西側



西側



北側道路側

